

## 実践③ 霧島市立陵南中学校

### 1 はじめに

本校は、霧島市の西部にある溝辺町の南東部に位置している。校区の大部分は、標高280メートル前後の十三塚原台地及びその周辺地域であり、東に霧島連山、南に桜島を望み、雄大な展望の開けたところである。また、鹿児島国際空港がすぐ隣にある。最近では、学校周辺を中心に土地改良が進み、新しい家が次々に建ち、活気に満ちた校区である。年間平均気温15.6度と冷涼な地域である。

校区の方々には、学校教育に対しては極めて協力的である。本校の特色の一つである「親会」の活動等を通して、学校と家庭・地域の連携が的確に図られているとともに、地域の教育力も十分に機能している。

2018年度には、本校を卒業された大先輩や(株)空港ビルディング様から、多額の図書の寄贈を頂き、蔵書もますます充実してきている。現在、学校図書館の蔵書数は9,570冊で、2018年度の1人平均貸出冊数は36冊である。



### 2 朝の読書タイム

#### (1) 校内一斉15分間朝読書

- ・ 毎週月・水・木・金曜日(8:15～8:30)
- ・ 漫画・雑誌・教科書は禁止(新聞は可)
- ・ 5分前には、読む本を用意して着席
- ・ 本は図書室で借りた本、家から持ってきた本、公共図書館等で借りた本など



【図書室での朝読書】

#### (2) 木曜日はクラス輪番で図書室を利用(全校読書の日)

- ・ 木曜日は、担任も朝読書に参加する。

#### (3) 新聞の活用

溝辺町新聞販売所から、各クラスへ南日本新聞を毎日一部ずつ無償提供していただいている。毎朝、各クラスの係が新聞を新聞はさみにセッティングし、各クラスの廊下にかけて、朝読書や休み時間等の好きな時に、生徒が新聞を読めるようにしている。

また3年生では、木曜日の朝読書で、月1,2回の割合で新聞朝読書にも取り組んでいる(時事問題への興味・関心を高める取組)。



【新聞朝読書】

### 3 生徒会(学芸委員会)の活動

#### (1) 校内人権週間での読み聞かせ

12月の人権週間での取組として、各クラスの学芸委員会が、朝読書の時間に自分のクラスでいじめや人権を考える内容の本の読み聞かせを実施している。

#### (2) 学芸委員会選定による学級文庫の設置

- ・ 学芸委員が十数冊本を選ぶ。
- ・ 学芸委員会が学級文庫として学級で管理する。



【学芸委員会による読み聞かせ】

- ・ 朝読書や休み時間に自由に読むことができる。
- (3) 年間2回の「おすすめ本」の紹介  
学芸委員会によるおすすめの本紹介を、6月と2月に  
行っている。合わせて、「読書郵便」も実施している。



【「おすすめ本」の紹介】

#### 4 国語の授業との連携

- (1) 読書郵便の取組【1年生】
- (2) 本の帯・ポップづくりの取組【2年生】
- (3) ビブリオバトルの取組【3年生】
- ① 1時間目(ルール確認, 本選び, 発表準備)
  - ② 2時間目(ビブリオバトル予選, 決勝準備)
    - ・ 4～5人の小グループで実施する。
    - ・ 各グループで順番に本を紹介する。
    - ・ 原稿を見ずに紹介する。
  - ③ 3時間目(ビブリオバトル決勝)
    - ・ 前時の各グループで, チャンプ本を紹介した人たちによる決勝を行う。
    - ・ 一人ずつ本を紹介する。
    - ・ 投票により, グランドチャンプ本決定を行う。



【ビブリオバトル予選の様子】



【ビブリオバトル決勝の様子】

#### 5 毎月の個人貸出目標達成者の紹介

達成者は、毎月発行の「図書館便り」で紹介し、司書の手作りしおりをプレゼントしている。また、年間の多読者表彰、三年間の多読者表彰(3年生のみ)も3学期に実施している。



【司書による手作りしおり】

#### 6 成果と課題

- (1) 成果
- ・ 朝読書の時間や学級文庫(2年前からの取組)があるため, 生徒の読書冊数が増えてきている。
  - ・ 親しみやすい雰囲気づくりにより図書館利用者が多い。
  - ・ ビブリオバトルを実施した後, 級友が紹介した本を借りる生徒も多く見られ, 本について語り合う場が読書への意欲を高めている。
- (2) 課題
- ・ 読書が好きであるという生徒も多い(43%)。好きではないという生徒も一定数(19%)おり, 貸出冊数が少ない生徒への手立てが必要である。
  - ・ 家庭で読書を進んで行く生徒が少ない。

#### 7 おわりに

図書館が、更に生徒にとっての憩いの場となり、生徒が本を読む楽しさや大切さを感じ取ってくれるように今後とも取り組んでいきたい。